

WaCA-P

和歌山県文化情報誌 ワカピー

2014年
5・6月号 Vol.55

Wakayama Culture and Arts POWER

天狗伝説 一夜にして七堂伽藍を建立した

○和歌山伝説の風景を訪ねて――

Contents

- アーティストメッセージ…2
- 和歌山県文化表彰受賞者…3
- イベントガイド…4・5
- 和歌山伝説の風景を訪ねて…6
- 輝く、和歌山人…7
- カルチャーインフォメーション…8

興國寺は鎌倉時代の安貞元年(1227)、法燈国師を開祖として創建された関南第一禅林。国師が伝えた味噌のほか、虚無僧の本山であり、天狗ゆかりの寺としても知られています。



artist message

アーティスト メッセージ

音楽の魅力はその度に発見があり、新鮮な喜びに満ちるもの

7月9日(水)に日本を代表するオペラ歌手森麻季さんの「プレミアムクラシックコンサートvol.2 森 麻季ソプラノリサイタル」が開催されます。リサイタルにあたって、音楽への思いを語っていただきました。

Q 声楽の道を歩むきっかけは

A 音楽好きの両親の影響は大きいと思います。「ピアノを弾ける女の子になってほしい」という母の願いから、国立音楽大学の付属小学校へすすみました。はじめピアノを専攻していましたが、先生の勧めもあり、高校生の時に声楽科に転科しました。声楽の勉強は、私に音楽の楽しさを教えてくれました。ちょうどそのころ、テレビのコマーシャルでキャスリーン・バトルが広大な自然の中で白いドレスを身にまとって風にふかれたながら歌う「オンブラ・マイ・フ」を何度も耳にして、その頃、オペラなどまだ知らない私は「人間の声ってなんて美しいの!!!」と感動し、その歌声は深く心に刻まれました。大きな平和に包まれるような調和感、天から降ってくるような美しい歌い方、シンプルな音楽で感銘を与える凄さを感じて、声楽家へほのかな憧れを持ちました。

Q 声楽、クラシック音楽の魅力について

A クラシック音楽で「言葉」があるのは声楽曲だけです。ですから言葉と音楽の関りは絶妙です。日本歌曲でたとえれば「言葉」には、まず歌詞そのものの意味がありますが、音楽には、言葉の裏側にある感情、日本の美し



オペラ歌手
森 麻季さん
もりまき



東京藝術大学、同大学院独唱専攻修了。古典から現代まで幅広いレパートリーを誇り、コロラトゥーラの類稀なる技術、透明感ある美声と深い音楽性は各方面から絶賛され、世界バレー開会式での独唱やNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」メインテーマを歌うなど、日本を代表するオペラ歌手として常に注目を集めています。また、2010年トリノ王立歌劇場「ラ・ボエーム」へ出演。2012年ワシントンにおいてリサイタルを成功させるなど、着実に国際的な評価を高めています。最新CD「日本の歌～花は咲く」(エイベックス・クラシックス)。ワシントン・アワード、出光音楽賞、ホテルオーケラ賞、安宅賞受賞。

■オフィシャル・ホームページ

<http://www.makimori.com>

い叙情までも表現されています。言葉と音楽両方のディテールの細やかさをどのように表現するかで、作品の伝わり方は大きく違つくるので、私は常に言葉(歌詞)を大切に歌うことを行っています。そして、クラシック音楽は、時代をこえて私たちの心に語りかける力を持っています。たとえ歌われる言葉の意味がわからなくとも、心の琴線に触れるというのでしょうか…ピュアな音楽として、まるで語りかけられるように、私たちに感動を与えてくれます。演奏していても、聴いていても、その度に発見があり、新鮮な喜びに満ちるのも音楽の魅力です。

Q 和歌山の印象、行ってみたいところはありますか

A 和歌山というと暖かくて、とても美しいところという印象です。大好きな温泉もありますね。自然の溢れる美しいところがたくさんあるので、自然に抱かれるような場所に行ってみたいですね。

7/9 水 プレミアムクラシックコンサート vol.2 森 麻季ソプラノリサイタル

各方面から絶賛を浴びる日本を代表するオペラ歌手森麻季のリサイタルを開催します。今回のリサイタルは、得意のイタリア・オペラからアリアの名曲を中心に、森麻季の美声がホールに響き渡ります。

- 開演／午後7時(午後6時30分開場予定)
- 場所／和歌山県民文化会館小ホール
- 入場料金／5,000円(全席指定)※未就学児の入場はお断りします。
- 特典／CDご購入の方には、ご本人から直接サインがもらいます。ウエルカムドリンクご用意!
- プログラム(予定)／●ヅッチーニ：歌劇「ラ・ボエーム」より
●ヅッチーニ：歌劇「つばめ」より
●ヅuchiini：歌劇「トゥーランドット」より
●ヅuchiini：歌劇「椿姫」より
- ピアノ／山岸茂人
- 友の会優先電話予約／5月12日(月)午前10時から
- お問い合わせ／和歌山県民文化会館 TEL.073-436-1331
- 一般ブレイガイド販売／5月22日(木)午前10時から



和歌山県文化表彰とは、和歌山県の文化向上・発展に顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。



平成25年度 和歌山県文化賞



ガラス造形作家

三浦 啓子(みうら けいこ)さん (本名:三浦圭子)

昭和10年、和歌山市生まれ。同志社女子大学卒業。同43年、ニューヨークで見たステンドグラスに衝撃を受け、ガラスに光の表現を見いだす。同47年、オリジナルのガラス手法「ロクレール」を確立。同61年特許を取得。日本ステンドグラス作家協会会長。作品は公共施設や病院、ホテル、学校など国内外に設置。



「子どもの頃の玩具といえば、今でいう鉛のペーパーウエイト。何もない戦後の焼け野原から鉛を拾ってそれを溶かして作っていました。もう何十年も経ちますが、私の物づくりの出発点はここにあります」。

三浦さんは、独自のガラス表現技法として「ロクレール」を確立しました。特許も取得している「ロクレール」とは、

ロック(岩)とクリア(輝いた)を組み合わせた造語で、輝く光の岩を意味しています。キャストグラスとエポキシ樹脂による新しい技法で、手作りの分厚いガラスをハンマーで打ち砕き彫刻のように造形し、ダイナミックで力強い作品に仕上げていきます。

和歌山県内では県立図書館や市立図書館、和歌山信愛中学校・高等学校、ホテルグランヴィア和歌山のほか、東京国立博物館や六本木ヒルズ森タワーなど、国内外の施設の壁面や天井で三浦さんの大作を見ることができます。

「私も主人もクリスチャンで“神の光”との出会いは、祈りの中の教会でした。温かくて優しく、素朴で力強い。しかもシャープでダイナミックな、その光に包まれた時の感動を表現したいと、ハーバードアーツスクールでステンドグラスを学びました」と三浦さん。しかし求める光の質感がステンドグラスではどうしても表現できず、新しい技法を研究。



シアトルのマグノリアの作品

理想に近づけるためガラスづくりから取り組み、試行錯誤の末、ついにロクレールが完成しました。「当時、日本はまだステンドグラスに関心のない時代。海外では日本人は繊細だの細かいだのといわれていますが、本来は、おおらかでダイナミックな気質だと、私は思っています。それが和歌山初であり日本初の表現技法にも結びついたのだと感じています」。

美の究極を表現するため、光の質感にこだわり続ける三浦さん。いつか、森の中で天を仰ぐ、燃えるような光の質感を極めたいと、傘寿を前にしてまだまだ第一線で活躍中。現在、兵庫県西宮市にお住まいですが、故郷和歌山の文化振興にも積極的です。



六本木ヒルズ 森タワーの作品

人気のある『貸会議室』3時間1,600円~ 当日予約もOK!

県民文化会館には、年間20万人以上の方に利用される人気の貸会議室があります。人気の秘密は、集客のしやすさ&リーズナブルなお値段。更に、無料で使えるインターネット環境を全室に整備。大・小 23室ある会議室は、18名～120名の利用が可能で、研修や説明会、面接・試験会場として大活躍しています。是非、一度ご来館ください!県文ホームページから空室状況確認&インターネット予約OK!

■お問い合わせ／和歌山県民文化会館 TEL.073-436-1331
476台収容の県文有料駐車場あり(40分100円／24時間800円)



4F 中会議室

6/17 火

平成26年度 歌舞伎鑑賞入門公演

- 開演／午後2時
- 場所／和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料金／一般1,500円、大学生～高校生800円、中学生～小学生500円
(自由席※但し、学生団体鑑賞席を除く)

演目

◆第一部「歌舞伎ワークショップ」

三番叟ができるまで

普段は見ることができない三番叟が作られていく様子をご覧いただけます。伝統的な化粧や着付けなど、わかりやすい解説付きで歌舞伎の裏側を知ることができます。

- 解説／千川貴楽(せんかわ きらく)
- 三番叟／一越和城(いちごし かずしろ)

◆第二部「操り三番叟」(あやつりさんばそう)

第一部で完成した三番叟が舞踊を披露します。

- 三番叟／一越和城

◆第三部 あんまと泥棒

あんまの秀の市は一見人当たりがよさそうな人物。ある日秀の市が家に帰ると、床の下から泥棒・権太郎が現れた。刃物を手にし「金を出せ」とすぐめ権太郎だったが、秀の市はのらりくらりと言い抜ける。その上泣きながら身の上話を語り、権太郎の同情を引く始末。結局、権太郎は秀の市からお金を奪うどころか逆に恵んでやる羽目に。ところが権太郎が帰った後、秀の市は驚くべき行動をとるのであった…

- あんま 秀の市／菊月喜千壽(きくづき きちじゅ)
- 泥棒 権太郎／千川貴楽



あんまと泥棒



菊月喜千壽



一越和城



千川貴楽

6/29 日

第42回和歌山県新人演奏会 オーディション参加者募集

9月21日(日)に開催する第42回和歌山県新人演奏会の出演者を募集しています。この演奏会は、音楽を学んでいる優秀な若人を広く県民に紹介するとともに、本県の音楽文化の振興と向上を図ることを目的に開催している催しです。皆様のご応募をお待ちしています。

■募集要項

オーディション開催日時 6月29日(日) 午後1時開始

開催場所 和歌山県民文化会館大ホール

参加料 無料(公開オーディション)

応募資格 年齢が20歳以上35歳以下(平成26年4月1日現在)の方でかつ、
本県の出身者、在住者、勤務者、在学生、卒業生のいずれかに該当される方。
※一度演奏会に出演された方は応募できません。※詳しくは下記までお問い合わせください。

過去の新人演奏会より



演奏部門 クラシック部門(声楽・器楽・作曲・邦楽)
※各部門とも生演奏に限ります。作曲の場合は楽譜を提出してください。
邦楽についても楽譜を提出していただく場合があります。(返却しません)。主催者で用意するものはピアノだけです。

演奏時間 5分以内(曲のカットは任意) ※演奏時間の長短は審査の対象となりません。

曲目 自由※演奏会(オーディションに合格して出演する新人演奏会(9月21日)で演奏する曲(12分以内)を含めること。

結果発表 オーディション審査後、当日発表、後日、郵送でも通知します。
また、希望者には結果発表後、選考委員からの講評があります。

締め切り 5月31日(土)までに所定の用紙に必要事項を記入のうえ、お申し込みください。

お問い合わせ 〒640-8269 和歌山市小松原通1-1 (一財)和歌山県文化振興財団 和歌山県新人演奏会係
TEL.073-436-1331 ■ホームページ/<http://www.wacaf.or.jp>

7/9 水 プレミアムクラシックコンサート vol.2
森 麻季ソプラノリサイタル



透明感のある歌声と華のある容姿で各方面から絶賛を浴びる日本を代表するオペラ歌手森麻季のリサイタルを開催します。東京藝術大学、同大学院修了後、ミラノとミュンヘンに留学。1998年のプラシド・ドミンゴ世界オペラコンクール第3位など、国際コンクールで多数入賞しています。今回のリサイタルは、得意のイタリア・オペラからアリアの名曲を中心に、森麻季の美声がホールに響き渡ります。

■開演／午後7時 ■場所／和歌山県民文化会館小ホール
■入場料金／5,000円(全席指定) チケット販売の詳細については、P2をご覧ください。

PROFILE ソプラノ 森 麻季 (もり まき)

東京藝術大学、同大学院独唱専攻修了。古典から現代まで幅広いレパートリーを誇り、コロラトゥーラの類稀なる技術、透明感ある美声と深い音楽性は各方面から絶賛され、世界バレー開会式での独唱やNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」メインテーマを歌うなど、日本を代表するオペラ歌手として常に注目を集めている。ワシントン・アワード、出光音楽賞、ホテルオーケラ賞、安宅賞受賞。



PROFILE ピアノ 山岸 茂人 (やまがし しげと)

1994年東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。97年同大学大学院(音楽学専攻)修了。在学中に安宅賞受賞。2000年よりライナー・ホフマン教授によるドイツ歌曲講習会を度々受講する。ピアノを川口恒子、渡辺健二、高出紘子の諸氏に、また、音楽学を船山隆、本田脩の各氏に師事。声楽の伴奏者として演奏家から常に深く信頼され、これまで著名な歌手と数多く共演を重ねる。二期会イタリア歌曲研究会ピアニスト。

わかふるコンサート出演者募集

多くの皆様方に気軽の音楽を楽しんでいただくことを目的に県内4カ所でコンサートを開催します。いずれかで演奏を希望される方(グループ)は下記にご応募ください。詳細につきましてはお問い合わせ先まで。

- 応募方法／所定の応募用紙必要事項を記入の上、郵送又はFAXで下記までお申し込みください
- 応募締め切り／6月15日(日)まで
- 応募先・お問い合わせ先／〒640-8269 和歌山市小松原通1-1
和歌山県民文化会館 わかふるコンサート係
TEL.073-436-1331 FAX.073-436-1335



◆万葉館 お月見コンサート

- 日時／9月7日(日)夜公演
- 場所／万葉館(片男波公園)

◆世界遺産 熊野本宮館 コンサート

- 日時／10月26日(日)昼公演
- 場所／熊野本宮館(田辺市本宮町本宮100-1)

◆風土記の丘 古民家コンサート

- 日時／9月28日(日)昼公演
- 場所／紀伊風土記の丘 旧柳川家住宅(重要文化財、和歌山市)

◆紀北方面でコンサートを予定

- 日時・場所／未定

※4カ所とも3人(組)程度の募集となります ※わかふるは、「和歌山」の“わか”と「たくさん」の“full”を併せた造語です。

県内の音楽分野で活動している方の情報の登録へのお願い

県内の音楽分野で活躍している皆様を紹介することを目的に当財団のホームページ上にアーティストバンクを開設しています。ホームページ上への登録を希望する方を受付しています。詳細については、下記までお問い合わせください。

- アーティストバンク／<http://www.wacaf.or.jp/search/abank/index.html>

企業メセナ協議会「助成認定制度 相談窓口」をご利用ください

社団法人企業メセナ協議会は、2003年4月1日より、芸術文化活動への企業や個人からの寄付を促進する「助成認定制度」を全国規模で展開するために、各地の主要な文化関連機関に「相談窓口」を開設しています。和歌山県では県文化振興財団内に「相談窓口」を開設、本制度に関する問い合わせは下記にお問い合わせください。

- 問い合わせ先／〒640-8269 和歌山市小松原1-1(和歌山県民文化会館内)
(一)和歌山県文化振興財団 事務局総務企画課 TEL.073-436-1331 午前9時30分～午後5時(土・日・祝日は除く)

興國寺の天狗堂に奉られている大天狗の面。高さ2.4m、幅2.7mと非常に大きく、昭和41年に寄贈されました。当時は日本一大きい面として、方丈におさめられていきましたが、同48年の天狗堂建立後に移動。一般の方が参拝に訪れます。



一夜にして七堂伽藍を建立した天狗伝説

和歌山県のほぼ中央部に位置する海沿いの町、由良町。真っ白な石灰岩の絶景が広がる白崎海岸のほか、味噌の伝来・醤油発祥の禪寺として興國寺が全国的に有名です。

この地に伝わる伝説として語り継が

れているのが、天狗のお話。興国寺のお堂を天狗が一夜にして建立してくれたというのです。

境内の北側、石段をのぼると伝説にまつわる天狗堂が見えてきます。こちらは昭和48年に建立されたもの。堂内に

は高さ2.4m、幅2.7mの大きな天狗の面が奉られています。同55年からは「天狗祭」が催され、毎年成人の日に開催。大天狗、中天狗、子ども天狗による天狗舞や踊りが、寺の四大祭として近郊の名物にもなっています。

和歌山 伝説の風景を訪ねて

和歌山県内に残されている数々の伝説の舞台を訪ね、その物語をシリーズで紹介します。

►訪ねた場所 **(興國寺)** WAKAYAMA Legendary Scenery
KOUKOKUJI

伝説のあらすじ

その昔、興国寺が戦災にあい、住職は焼け跡に仮庵を建てて勤行していました。そこへ杉ノ坊という旅僧が訪れ、「火難を伏せて建てて進ぜよう」と告げて、上州（群馬県）赤城山に立ち去ります。念願であった寺の復興のため住職は、2人の僧を使わし、そこで杉ノ坊が大天狗であると里人から聞きます。2人は出迎えの山伏に連れられて、大天狗の前へ。「コレコレの夕刻に、寺方は里へと下り、戸を閉めて火を消し家にこもられよ」と大天狗。約束の日、山内からは槌やのみの音が一晩中聞こえ、夜明けには見事、七堂伽藍が建立されていたといいます。



① 大門／参道入り口の大門。もとは県道にあり平成9年に移築。秀吉の兵火にあうまではこの門より本坊まで多くの末寺が軒を構えていました ② 天狗堂／手入れの行き届いた境内の奥に佇む天狗堂。参拝者が堂内に入ると、大天狗の面がライトアップされます ③ 天狗命根石(てんぐめいこんせき)／天狗堂内にある貴石で、願い事を唱えながら天狗様にお願いすると成就するとか。
④ 由良守広(もりまさ)顕彰碑／参道の途中には、明治以降の文化開花に大きく貢献した由良守広の墓と顕彰碑があります ⑤ 金山寺味噌／法燈国師が宋の国(中国)から持ち込んだ味噌。興国寺は日本において味噌、醤油発祥の寺で、味噌の製造過程から醤油が生まれました

DATA ● 興國寺 0738-65-0154

輝く、 和歌山人

和歌山県内をフィールドに、
文化、スポーツなど
あらゆるジャンルで活躍する人を
紹介します。



文化創造グループ 会長
花光 郁さん TAKASHI HANAMITU

PROFILE



はなみつ・たかし

●地域の音楽や文化芸術の底上げを図るため、平成19年に「文化創造グループ」を発足。和歌山市民会館と協力して、夕暮れジャズカフェなどイベントを取り仕切り、和歌山の文化振興に貢献。和歌山音楽愛好会フォルテや和歌山県第九の会の事務局も務める。

「天守閣から音楽を通して和歌山らしさを発信」

— 発足のきっかけは？

花光 ● もともとは、市民のニーズを敏感にキャッチした市民提案実施事業「わかやまの底力」で企画をし、われわれ市民参加によるまちづくりの推進を目指して、提案したのがきっかけ。和歌山音楽愛好会フォルテや和歌山県第九の会など、音楽振興の経験から、音楽で地域を元気にできないかとメンバーを集め、「文化創造グループ」を発足しました。現在、登録メンバーは7人。和歌山市民会館と協働した夕暮れJazzカフェで事業がスタートし、現在も定期的にイベントを開催しています。

— 好評イベントは？

花光 ● とにかく音楽を身近に感じてもらいたいと、会場に工夫を凝らしました。JR和歌山駅前や京橋、和歌山城、じんじん横丁など、街中を舞台にした「わかやまクラシック・プロムナード」は2008年から開催。市の補助金

をいただいたこともあり、翌年からは規模を拡大して実施することができました。行楽シーズンの10月から約1カ月間、土曜と日曜の週末は街角のどこかで必ずライブが行われ、和歌山市が音に包まれていました。補助が終了して少し規模は縮小しましたが、これからも10月開催の「竹燈夜」を中心にして、クラシックに親しむひとときをお届けしたいと思います。

— 反響はいかがでしたか？

花光 ● 街中の舞台で、和歌山城は人気がありましたね。そこで着目したのがお城の天守閣。2011年には、お城のてっぺんから「和」を代表する寄席を開き、プロの漸家さんを招いて笑いを提供しました。全国でも珍しい天守閣でのイベントは話題になりましたね。

— 「わかやまお城クラシック」はそこから生まれたのですね？

花光 ● プロムナードの経験を生かした

イベントが「わかやまお城クラシック」。月1回、お城のどこかでクラシックライブを開き、和歌山城を訪れる観光客や地元の方を音楽でおもてなししようというものです。7、8月はお城のナイター営業に併せて天守閣でもコンサートを開催。城好きのアーティストとして知られる「Hyclad」も応援に駆けつけてくれました。今年は地元ミュージシャンを中心に、県内外からの公募も受け付けています。若手アーティストの発表の場として、いつか彼らが大きく飛躍し、ジャンルの垣根を越えたワールドミュージックフェスタを和歌山城で開催したいと、夢見ています。

わかやまお城クラシック♪2014 (予定)

- 会場／和歌山城伏虎像横広場
- 開催／6月8日(日) 13:30～、14:30～
- お問い合わせ／文化創造グループ
TEL.073-422-4225

※秋(9月以降)からの出演者も募集されています

和歌山県 民俗芸能



紀州東照宮の「和歌祭」

きしゅうとうしょうぐうの
わかまつり

— 和歌山市

祭一色の和歌の浦！5月11日(日)開催

毎年5月第2週目の日曜に開催される紀州東照宮の例祭「和歌祭」。地元では権現祭とも呼ばれ、親しまれてきました。始まりは江戸時代の元和8年(1622)。徳川家の加護のもと「関西の日光」として花咲いた和歌の浦の祭礼で、紀州三大祭の一つに数えられています。祭の開始を告げるのは大神輿。80人もの担ぎ手が、東

照宮108段の石段を勇ましく駆け下りる迫力満点の神事。見どころは、1000人以上の行列が風光明媚な和歌の浦を練り歩く渡御。行列奉行が先頭を行き、行列の到来を知らせます。鉦や太鼓を打ち鳴らしながら雑賀踊や餅つき踊、薙刀振、母衣(ほろ)、唐船(とうぶね)など、目ごろの練習成果を発揮する技芸が見物です。

カルチャーインフォメーション

万葉館

073(446)5553

素直な季持ち写真展～part2～

■Part2／5月20日(火)～6月29日(日)

故郷和歌山の何気ない風景、そのとき思った心のつぶやきを写真に添え作品を作り続ける写真家徳田直季氏の新作・未発表を交えた作品展です。

「帳のおりた片男波」徳田直季
※イメージ

第9回 あさもよしきのくに歴史講座

「国名勝和歌の浦の価値と活用について」

■6月29日(日) 13:30～15:00

■講師／渋谷高秀 ■受講費／500円 ■定員／先着30名

所在地 和歌山市和歌浦南3丁目1700 9:00～17:00 無料 入館無料

和歌山県立紀伊風土記の丘

073(471)6123

春期企画展「岩橋千塚発掘50年」

■開催中～6月15日(日)

国内最大級の群集墳である岩橋千塚古墳群は、発掘調査開始から平成25年で50年目を迎えました。本展では50年前の調査を中心に当時の写真、出土した遺物を通じ、発掘調査の歴史を紹介します。



所在地 和歌山市岩橋1411 9:00～16:30 無休(祝日の場合は次の平日)

一般190円、大学生90円

和歌山県立自然博物館

073(483)1777

ゆかし潟の自然観察会

■5月31日(土) 10:30～13:00(雨天中止)

那智勝浦町に広がるゆかし潟は、海と川の水が混じり合う汽水性の湖です。沖を流れる黒潮・温暖な気候・温泉など、特殊な環境が生み出す貴重な自然環境を観察します。



■場所／那智勝浦町湯川 ゆかし潟周辺(現地集合・解散) ■費用／100円(傷害保険料) ■参加申し込み／往復はがきまたは和歌山県電子申請システムにより(締切5/17必着)

所在地 海南省船尾370-1 9:30～17:00 無休(祝日の場合は次の平日)
一般460円

9/8(月)

松竹大歌舞伎
四代目 市川猿之助 九代目 市川中車
襲名披露

- 開演／昼の部：午後0時30分、夜の部：午後5時
- 場所／和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料金／特等席10,000円(完売)、一等席9,000円、二等席8,000円(2階A)、7,000円(2階B)※当日500円増
- お問い合わせ／(株)タニガワ企画 TEL.073-436-4468及び下記まで

和歌山県立博物館

073(436)8670

特別展「きのくにの城と館—紀中の戦国史—」

■開催中～6月1日(日)

室町・戦国時代に活躍した畠山氏・湯河氏・玉置氏などの武士の活動とともに、大野城、広城、亀山城と小松原館、手取城、鶴ヶ城、平須賀城など、その拠点となった城館について紹介します。



湯河直光像(宝寺蔵)

企画展「紀伊徳川家の家臣たち」

■6月7日(土)～7月13日(日)

所在地 和歌山市吹上1-4-14 9:30～17:00 無休(祝日の場合は次の平日)
企画展／一般280円、大学生170円 特別展／一般510円、大学生300円

和歌山県立近代美術館

073(436)8690

建畠覚造と戦後の彫刻
かたちをさぐる

■開催中～7月6日(日)

戦後日本の彫刻界を牽引した建畠覚造の作品を中心に、同時代に活躍した彫刻家の作品を紹介します。

『建畠覚造と戦後の彫刻
かたちをさぐる』展
建畠覚造 A L A R M 1972年

所在地 和歌山市吹上1-4-14 9:30～17:00 無休(祝日の場合は次の平日)

一般510円、大学生300円

郷土の歴史と文化が学べるスポット

県内の郷土の歴史と文化が学べる施設をシリーズで紹介します。

紀州高野紙伝承体験資料館 紙遊苑

0736(54)3484

伝統を貫いた紙漉き技術を体験

弘法大師が当地に手漉き和紙の技術を伝え、最盛期には九度山町古沢地区を中心に、約100件の家々が紙漉きを行っていました。ここでは紙漉き体験のほか、往時をしのぶジオラマや和紙でできた廻、小物など様々な展示が楽しめます。

所在地 伊都郡九度山町慈尊院749-6 9:00～16:30 無休(火曜、年末年始)
葉書大3枚で300円、色紙大300円、A3大400円(それぞれ団体割引あり)※要予約

10/3(金)

沢田研二
LIVE 2014
三年想いよ

- 開演／午後6時30分
- 場所／和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料金／7,000円(全席指定)※6歳以上有料、5歳以下は入場不可
- けんぶん会の会優先電話予約／5月19日(月)午前10時から
- 一般(ブレイガイド)販売／5月30日(金)午前10時から

■主催・お問い合わせ／(一財)和歌山県文化振興財団 TEL.073-436-1331

和歌山県文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts POWER

【発行】和歌山県

【発行日】平成26年5月 【編集・問い合わせ】一般財団法人 和歌山県文化振興財団(ワカツ) 〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)

TEL.073(436)1331 FAX.073(436)1335

【ホームページアドレス】http://www.wacaf.or.jp